

編集後記： 朝晩冷え込む今日この頃、みなさんいかがお過ごしでしょうか？ 台風により延期されていた合宿も無事に終え、JPは新たな企画をついに始動。芸術・学問の秋ということで、たくさんのイベントを予定していますが、詳細はまだ次号にて…今号では夏の活動について報告したいと思います。真夏のパーもアツかった！ 特に新入部員の活躍には驚きです！ ああ未恐ろしや…
BY パー君



恐竜教室 in きしわだ 8月13日

8月13日にきしわだ自然資料館で恐竜教室が行なわれました。今回の講師は恐竜模型作家の徳川広和さん。夏休みのためかたくさんの方が応募して頂いたようで、今回は午前と午後の二回となりました。

まず午前の一回目には大阪市立大学恐竜愛好会ジェラシックパー君の会長である大野の講義。講義内容は古生物学を簡単にクイズを交えながら紹介するというものでした。

次に徳川さんによる復元画のワークショップ。アロサウルスの頭部の骨の図から復元図を描くというもの。書き終わったものを見比べてみるとそれぞれ違った表情をしていて面白い。それに模様や鱗を書き足してみるとまた違った表情を見ることができました。続いて、ティラノサウルスのフィギュアの色塗り体験。色塗りでもそれぞれの個性が出ていて、とても面白かったです。



⑦初代・2代目会長が真剣議論中



⑧みんなのフィギュアを並べたら壮観！

新入生三人が決死の講義！子どもが元気に答えてくれます



ディプロドクスと徳川氏



1回目の発表を終えてホッ
現会長



中にはこんな斬新な子も！

午後の二回目の教室ではジェラシックパー君の新入生三人が講義！ 講義内容は午前中のもと同じく古生物学の紹介でしたが、少し違うクイズをしたりと内容を少し変えて紹介しました。

デビュー戦ということもあり三人とも緊張していましたが、子どもたちの元気の良さのおかげで、とても楽しみながらの教室となりました。引き続いて徳川さんのワークがあり、2回にわたる教室は無事終了。その後は恐竜教室大人の部IN 居酒屋で、恐竜界の先輩方にたくさんのアドバイスを頂き、多くの事を学ぶことができました。(文・西村充)

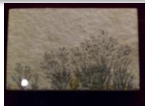
特集！！「来て！見て！感激！大化石展」～化石でたどる生命の歴史～

今回の特集は、大阪市自然史博物館で開催された特別展「来て！見て！感激！大化石展」の見どころを紹介！！

その壱：これは化石？いいえ、偽化石です！

その貳：地球最古の岩石と生命誕生の鍵！！

その参：古生代の海に巢食う者たち！



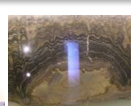
しのぶ石



植物化石のように見えますが、実は二酸化マンガ
ンが岩石に浸みだし結晶化したもの。身近なところで見られることも…。



左から、地球最古の岩石アカスタ片麻岩、絹状鉄鉱
層、ストマトライトの断面です。生命が作り出した芸術
品！！巨大ストマトライトに触ることもできました。



三葉虫、ウミサソリ。そして魚類。古生代を代表する生
物たちが、数多く展示されていました。遠い昔の太古の
海で、彼らはどのような生活をしていたのだろうか？

その肆：陸へ行く者、行かぬ者…

その伍：中生代を謳歌する！！

その陸：今から 260 万年前、世はまさに「大氷河時代」



古生代には陸に進出した生物もたくさんいま
ました。上は肉鱗類と裸子植物のクックソニア。
3枚目はフズリナ化石のヤベイナ。フズリナ
の群生に思わず一言、「やべいな…。」



ずっしりとした鳥羽竜の脚、華奢な体に煌びやかな
な羽毛を持つ始祖鳥、中生代の大地を支配した恐
竜達が彼らの栄華を謳歌する姿が目につかびんで
来ます。さらに、海には多種多様なアンモナイト
が所狭しと…。



地球の歴史上、氷河期は少なくとも3回起こったそ
うです。その3回目の氷河期が新生代後半に起きた
のです。上の写真は、そんな大氷河時代をたくま
しく生き抜いた猛者達です。左から、コウガゾウ、
ヤベオオツノジカ、キシワダワニ。

今回の化石展で、多くの魅力ある化石達を見ることで、永い歴史の中で、生物がいかんして生命の糸を紡いできたのかを知り、生きる物の力強さ、生命の神秘、そして、栄うる者もいずれば滅びゆく儚さを感じ取りました。まさしく、来て！見て！大いに感激した、大化石展でした！！(文・辻村 晃佑)